

2016年度 国際学部 短期留学実施概要

国際学部・国際文化学部では、短期留学制度が充実しています。短期留学制度へ参加の方法は大きく分けて2つです。学部が企画した研修に参加する方法と、語学学校や研修機関を各自で見つけて計画を立て、龍谷大学に申請する方法(自己応募)です。

興味のある学生は、短期留学説明会で制度を理解した上、行き先別説明会に参加しましょう。

短期留学説明会

日時：2016年4月15日(金) 12:25~13:05

場所：和顔館 202

※行き先別説明会の日程は、「留学 week」のチラシに記載しています。

※国際学部グローバルスタディーズ学科(GS)対象の提携校留学説明会は別途 **4/12(火)**に開催されます。

短期留学(学部企画)

- 申込方法：「短期留学申込書と誓約書」を提出
※上記書類は **国際学部ホームページよりダウンロード可能**
- 提出期間：2016年5月23日(月) 8:45 ~ 5月27日(金) 17:15
- 提出先：国際学部 留学サポートデスク
(和顔館 1階 グローバル教育推進センター内)
- 受付方法：**先着順** 申込期間内でも、定員に達し次第受付を終了します。

※春期(2017年2月)実施プログラムのオーストラリア(メルボルン)は、上記申込期間にて受付を行います。

それ以外の春期プログラムについては秋の留学 WEEK で別途募集期間など説明を行います。

【参加費用について】

空港税や燃油サーチャージが含まれるか、別途必要(約2万円~6万円)か、表記に注意。
※為替レート等により変動します

※先着順について

- 以下の条件のもと、先着順とします。
- ・ 申込書を不備なく作成する
 - ・ 出発前のオリエンテーションに必ず参加する
 - ・ 大学の求める事項を遵守する
 - ・ 期限内に各種書類を提出する

短期留学(学部企画) 手続きの流れ

~出発前~

①学部企画参加の申込み

②海外旅行保険に加入

③出発前オリエンテーションへ参加 複数回開催されます。参加必須のこと。

~帰国後~

④各研修必要な書類を帰国後10日以内に提出(基本は以下の3点)

- ・ 修了証(写) ※語学留学のみ・レポート(所定の様式で作成)・アンケート

⑤単位認定審査 提出書類を基に審査されます。

⑥単位認定 帰国直後の成績配布時ではなく翌セメスターの成績表に反映されます。



フィリピン・バコロド 短期語学研修

《プログラム説明会：2016年4月25日(月)

休休み 12:25-13:05 和顔館 201 教室》

学校名： E-ROOM Language Center

日程： 2016年8月9日(火)～2016年9月6日(火) 29日間

研修時間： 105時間

募集人数： 10名以上30名程度(最少催行人数10名)

参加費用： 265,000円程度

(語学学校学費(入学金含む)、教材代、寮費、滞在(水道光熱)費、食費、SSP取得費用、学生ID代、航空券代、燃油税込)

※現地で研修先機関(E-ROOM)へ直接支払う費用はありません。

※フィリピン出国時の国際線空港施設使用料(550ペソ)については、2015年2月1日発券分より航空券購入時に自動的に徴収されることとなりましたが、今後変更する可能性もあります。

認定単位：【国際文化学部生】4単位〔外国語(海外研修)〕

【国際学部】(IC)2年次生 語学研修<英語>4単位

または、実践プログラムⅡG2単位 + 語学研修<英語>2単位

【国際学部】(IC)1年次生 語学研修<英語>4単位

【国際学部グローバルスタディーズ学科(GS)生】海外研修4単位

企画手配： (株)JTB西日本 京都支店

・・・ 研修のポイント ・・・

◆ フィリピンの環境

フィリピンは島ごとに言語が異なるため、英語を公用語として使用しています。また留学地のバコロドは、非常に治安が良く、2012年フィリピン住みやすい街No1に選ばれました。



◆ フィリピンにおける語学研修

フィリピンではマンツーマンレッスンを主体とし、少人数制のグループレッスンも行うことで、人前で話すことに自信を持ってもらうようにしています。フィリピン人の英語水準は高く、訛りも少なく、ネイティブ並の英語能力を持っていることが特徴です。

◆ E-ROOMとは

2007年からバコロドで日本人学生の受け入れを開始し、その頃無名であったフィリピン・バコロド留学を日本で広めた学院です。これまで日本人学生を700名以上送り出してきており、実績豊富です。大きなプールをはじめ、カフェやガーデンなどリラックスできる学習環境を整えています。

◆ 語学研修以外

物価も安いので、近隣諸島や都市(ボラカイ島、ギラマス、イロイロシティ、セブ島)などのリゾート地へ週末旅行することも可能です。

◆ 宿泊寮とホスピタリティ

宿泊先はE-ROOM寮。お部屋にはベット・エアコン・冷蔵庫・クローゼット・トイレ・シャワーが備わっており、食事も3食バイキング形式で提供されます。(外で食事もOK!)週3回お部屋のクリーニングサービスや洗濯サービスも留学費用に含まれております。

夏期実施プログラム

【学部企画】

（※国際文化学部/国際学部(IC学科生)対象）



カナダ・バンクーバー 短期語学研修



《プログラム説明会：2016年4月27日(水)

昼休み 12:25-13:05 和顔館 201教室》

学校名： International language of Academy of Canada (アイラック・ILAC)

日程： 2016年8月12日(金) ~ 2016年9月5日(月) 25日間

授業時間： 67.5時間(アクティビティを除く)

募集人数： 10名以上~35名以内 (最少催行人数10名)

参加費用： 369,000円(2人部屋) 379,000円(個室)

※別途、燃油SC要(2016年4月現在14,000円程度(往復))

認定単位： 【国際文化学部生】3単位【外国語(海外研修)】

【国際学部】(IC2)年次生【実践プログラムII G2 単位

または語学研修<英語>2単位

【国際学部】(IC)1年次生【語学研修<英語>2単位

企画手配： ピュアカナダ留学センター

・研修のポイント・・・

- ◆**バンクーバーの環境** バンクーバーは13年連続で『世界で最も住みやすい街世界ランキングトップ3(うち8回世界一)』に輝く、自然と都市が共存する美しい都市。特に夏は日本の春の様に爽やかで快適!夜は9時過ぎまで明るく、治安もよく、放課後も有意義に過ごせます。冬季オリンピック開催地として有名です。
- ◆**ILACでの英語研修** ILACは世界70カ国から留学生が集う抜群の国籍比率を誇り、世界中の友達ができます。カナダ最多17レベルに分かれ、英会話を伸ばすメイン授業と選択授業(発音矯正など多彩)で、バランスよく楽しく勉強できます。
- ◆**ILACの講師陣** 優秀な講師陣は全員が四大卒で英語講師の資格(TESL)を持ち、海外での教師経験があるので楽しく&しっかり学べます。過去10年間龍大からの学生を受け入れています。
- ◆**ボランティア体験** カナダ人と交流の機会が大好評。ボランティア先進国で自分の可能性を広げましょう。
- ◆**多彩なアクティビティと、ウィスラー・ビクトリア旅行** 放課後&週末は、市内観光や現地イベントなど多彩なアクティビティを用意(自由参加、有料と無料のもの有)。冬季五輪が行われた世界的スキーリゾート【ウィスラー】、花の都【ビクトリア】へご参加(移動費無料)。このチャンスを逃す手はありません!
- ◆**滞在方法** 現地の家庭にホームステイ。個室か2人部屋(龍谷大生同士)の2タイプから選べます。
- ◆**現地でのサポート** 学校&ピュアカナダ留学センター現地オフィスにそれぞれ日本人スタッフが常駐。フレンドリーで心強いサポート。ピュアカナダ代表者が日本から現地まで同行するのも安心です。(往路)
- ◆**詳しくは写真と体験談で!** 実際に参加した先輩たちの生の声がカナダ留学を決意する背中を押してくれるかも!過去の龍大参加者150名以上の感想を確認できます。
→ www.p-u-r-e.net/ryukoku.html

【学部企画】 (※国際文化学部/国際学部対象)



カナダ トンプソンリバーズ大学 短期語学研修

《プログラム説明会：2016年4月27日(水)

昼休み 12:25-13:05 和顔館 201 教室》

学校名： Thompson Rivers University

日程： 2016年8月8日(月)～2016年9月3日(土) 27日間

研修時間： 80時間

募集人数： 10名以上20名程度(最少催行人数10名)

参加費用： 430,000円～500,000円程度(人数により変動します)

※燃油SC要(2016年4月現在は0円ですが、今後、発生する可能性あり)

認定単位：【国際文化学部生】3単位〔外国語(海外研修)〕

【国際学部】(IC)2年次生 語学研修<英語>4単位

または、実践プログラムⅡG2単位 + 語学研修<英語>2単位

【国際学部】(IC)1年次生 語学研修<英語>4単位

【国際学部】グローバルスタディーズ学科(GS)生 海外研修4単位

※国際学部生は単位認定に必要な課題が別途有ります

企画手配： ピュアカナダ留学センター
トンプソンリバーズ大学

・・・研修のポイント・・・

◆周辺環境 トンプソンリバーズ大学は プリティッシュ・コロンビア州のカムループスにあります。カムループスは人口9万人の近代都市です。安全で親しみやすく、海外からの留学生にとっては理想的な街です。また、本来の Canadian Life を思う存分楽しめる素晴らしい自然環境に恵まれた町です。



◆TRUの研修とは トンプソンリバーズ大学の夏期プログラムは、机に向かう英語学習だけではなく、乗馬やゴルフなど、広大なカナダで楽しむことのできるアクティビティを通じての総合学習を行います。カムループスに暮らす人々との交流の場も多く設けられているので、地元の方の英語を直に耳にする機会が多く、生きた英語を学ぶことが出来るのも魅力のひとつです。バランスよく楽しく勉強できます。

◆安心の研修態勢 (international student advisor 常駐) 授業開始初日には、トンプソンリバーズ大学日本人スタッフにより日本語でオリエンテーションが行われるため、言語の違いによる情報の聞き逃しもなく安心です。(オリエンテーション以外は全て英語です) また、ダウンタウンやカムループスのシティツアーもあり、地域の理解を深めることができます。研修は全て英語で行われますが、滞在中何か困ったことがあったり、ホームシック、病気にかかったりした時には母国語で対応してください。(要予約)

◆滞在方法 現地のご家庭にホームステイします。

春期実施プログラム

【学部企画】(※国際文化学部/国際学部(IC学科生)対象)



オーストラリア ビクトリア州 4 大学 短期語学研修

大学コンソーシアム京都提供

《プログラム説明会：2016年4月26日(火)

昼休み 12:25-13:05 和顔館 201 教室》

学 校 名： ビクトリア州 4大学付属語学学校

日 程： 2017年2月11日(土)～2017年3月12日(日) 30日間(4週間)

研修時間： 語学 100時間

募集人数： 10～30名程度(最少催行人数10名)

参加費用： 400,000～500,000円 ※別途、空港税・燃油SC要

認定単位： 【国際文化学部生】 外国語(海外研修) 4単位

【国際学部】(IC) 2年次生】 語学研修<英語>4単位

または、実践プログラムII G2 単位 + 語学研修<英語>2単位

【国際学部国際文化学科(IC)生】 語学研修<英語> 4単位

手配会社： STA TRAVEL (エスティーエートラベル)

各種手配連絡： MEC (メルボルン・エデュケーション・センター)

※春期(2017年2月)渡航ですが、

申込は早期受付(2016年5月27日(金)締切り予定)

につきご注意ください。



・・・ 研修のポイント ・・・

◆**メルボルンの環境** 世界一美しい街と言われるメルボルンは、ビクトリア様式と近代的な建築物が織り成す街並みが印象的です。“食の都”とも呼ばれ、グルメをうならせるレストランや小粋なカフェ、おしゃれてハイセンスなショッピングなど、お楽しみは盛りだくさん!

シティから1時間程で大自然に出会い、海と大地のエネルギーを満喫できます。

◆**留学先** ビクトリア州4大学付属語学学校(学生が選択します。)

(ディーキン大学、スインバーン工科大学、ビクトリア大学、オーストラリアン・カソリック大学)

◆**講義概要・到達目標** 各自のレベルに応じたインターナショナルクラスに入り、様々なテーマやトピックを扱うことにより、読む・書く・聞く・話す・文法に関する英語運用能力を高めることを目標とします。

また、オプションで現地ボランティア活動・現地の学生とのバディプログラムを追加することができます。

◆**宿泊先** ホームステイ(1日2食～3食 ※派遣先によって異なる)

オーストラリアはホームステイのメッカです!



短期留学・国際文化実践プログラム



(※ 国際文化学部/国際学部(IC 学科生)対象)

国際文化実践プログラム(実践 P)は、国際文化学科必修の科目で、事前学習として位置づけられる「I」(原則として2年次前期に受講)と、学生自身が選択する「II」(実践学習)の二段階で構成されています。「II B(語学研修)」・「II C(国外文化研修)」は短期留学のプログラムで、実践プログラム対象者(2016年度は2年のみ)を優先的に受け付けます。

その結果、受入人数に余裕がある場合のみ、その他の学年からも受け付けます(但しGS生除く)。各プログラムの運営は、担当教員がおこないます。

・各プログラムの受入人数に余裕がある場合の参加可能人数は、5月17日ごろに掲示板・ポータルでお知らせします。

・春期(2017年2月~3月)実施のプログラムは、秋の留学 WEEK で別途募集方法などの説明をおこないます。

[夏期] オーストラリア(住民族から学ぶオーストラリア) 短期文化研修



《プログラム説明会：2016年4月28日(木)

昼休み 12:25-13:05 和顔館 201 教室》

学校名：メルボルン大学、ヴィクトリア大学、先住民族当事者団体

日程：2016年8月24日(水)~2016年9月2日(金)10日間
(事前、事後学習を含め約20日)

研修時間：45時間

募集人数：20名以上30名程度

参加費用：260,000円程度(学校での講義受講料・滞在費・朝食費、航空券、燃油税込)

認定単位：【国際文化学部生】2単位【外国語(海外研修)】

【国際学部国際文化学科(IC)生】語学研修A<英語>2単位

企画手配：(株)JTB 西日本 京都支店

担当教員：友永・カルロス



◆ オーストラリア南東部ヴィクトリア州と先住民族

オーストラリアで先住民族といえば、多くの人が「アボリジニ」と答えられるでしょう。しかし、その実態は多数の集団で成り立っており、ヴィクトリア州だけでも40を超えるアボリジナル集団が存在します。今回のスタディツアーでは、そうしたアボリジナル集団のひとつヨルタ・ヨルタに注目し、現地で活動を行っている先住民族当事者団体をはじめ、メルボルン大学やヴィクトリア大学の先住民センターのスタッフなど、各種団体の協力を得て、人と自然との関係、人としての権利や尊厳を守ることの重みや大切さについて、学びます。

◆ メルボルン大学とヴィクトリア大学における研修

メルボルン大学は、世界的に教育や研究面でトップクラスの大学です。そこに設置された先住民族センターにて長年オペラを通して先住民族の歴史を訴えてきたスタッフから、その実践例について学びます。ヴィクトリア大学は新設の大学で、先住民族の学生に対する特別なプログラムが設置されており、そのスタッフからプログラムの詳細について学びます。

◆ メルボルン博物館とクーリィ文化遺産センターにおける研修

メルボルン博物館は南半球でも規模が大きく、一昨年に先住民族コーナーがリニューアルされました。クーリィ文化遺産センターも含めた2機関で、ヴィクトリア州の先住民族について包括的に学びます。

◆ 先住民当事者代表諸機関や自然体験学習など

ヨルタ・ヨルタの当事者団体にて就労、福祉の現状について学びます。とりわけ義務教育を終えていない学生への特別支援学級では、スポーツ交流をします。また国立公園に指定されたバルマ森林では、自然体験学習に参加し先住民族がもつ自然観について深く学びます。

(参考) 2017年2月~3月に実施予定の短期留学・国際文化実践プログラムは、定員に空きがある場合のみ募集予定です。

その申込時期は10月ごろを予定しています。

・フランス語学・文化研修(リールカトリック大学IC)	担当：カルドネル	24日間	4.5万程度
・ロンドン語学・芸術研修(ロンドン芸術大学他)	担当：杉本・林	16日間	4.5万程度
・韓国語学・文化研修(延世大学ハクコ語学堂)	担当：朴	24日間	3.0万程度
・アメリカ語学研修(マウントフットコミュニティカレッジ)	担当：ターヒュン	24日間	4.2万程度

※金額は予定。詳細はシラバス検索で「国際文化実践プログラムII」を確認し、各担当教員まで直接お尋ねください。

短期留学(自己応募)

(※国際文化学部/国際学部(IC 学科生)対象)

短期留学(自己応募)は各自で留学先を決定し、龍谷大学に申請する留学方法です。留学対象期間は、龍谷大学が定める夏期休業期間・春期休業期間です。規定に基づき許可された留学は、帰国後、所定の手続きを行った上で、内容に応じて単位認定が可能です。興味のある学生は、説明会に必ず参加して下さい。(制度の詳細は、国際文化学部生は「履修要項」、国際学部生は、「留学 Handbook」を参照ください)

*2016年度

夏期休業期間：2016年8月8日(月)～9月9日(金)

春期休業期間：2017年2月3日(金)～3月31日(金)

※サマーセッションや追試を受ける学生は、その期間と重ならないよう計画を立てること。

万一、留学期間中に追試を受けなければならない等の事態に陥っても、特別措置は一切取りません。

■申込方法：下記書類を提出

①申請書 ②誓約書 ③推薦書 ④研修計画書 ⑤研修先機関の情報を確認出来る書類

※①～④は国際学部ホームページよりダウンロード可能

※⑤は、研修先機関の公式ホームページやパンフレットのコピーなど。名称、所在地、自身の申請するコース、日程、時間に蛍光マーカーで印をつけること。

■提出期限：夏期 2016年5月27日(金) 17:15

※春期の留学の提出期限については9月に発表予定

■提出先：国際学部 留学サポートデスク

(和顔館 1階グローバル教育推進センター内)

短期留学(自己応募) 手続きの流れ

～出発前～

①申込書・留学先情報・専任教員推薦書の提出

②海外旅行保険に加入

③海外旅行保険説明会へ参加

～帰国後～

④下記書類を帰国後 10日以内に提出

・修了証(写)※語学留学のみ・レポート(所定の様式で作成)・研修報告書・研修先機関より発行された修了証以外の書類(成績やアテンダンスなど※可能な限り)

⑤単位認定審査 提出書類を基に審査されます。

⑥単位認定

帰国直後の成績配布のタイミングではなく、翌セメスターの成績表に反映されます。

◆短期留学参加者の義務

龍谷大学の制度を利用して留学する学生は、本学が指定する保険に加入する必要があります。

龍谷大学が規定とする保険基準

補償項目	金額
傷害死亡	2000万円
傷害後遺障害	2000万円
治療・救済費用	3000万円
疾病死亡	1000万円
賠償責任	1億円
携行品損害	20万円
航空機寄託手荷物	10万円
航空機遅延	2万円

※本チラシに掲載の【学部企画】各短期研修プログラム、また短期留学（自己応募）に関してのお問い合わせは、国際学部 留学サポートデスク（和顔館1F）までお尋ねください。

※注意

原則、電話やメールでのお問合せは受付けておりません。
直接窓口まで相談にお越しください。

